

気賀っ子応援団

～気賀小コミュニティ・スクールだより～

第8号 令和5年2月

気賀っ子応援団への御協力ありがとうございました

今年度は、コロナウイルスの感染拡大した時期もありましたが、感染症対策をしつつ、昨年度よりも様々な活動を行うことができました。

御参加くださった方々からも、「子供たちとの交流を通して楽しい時間を過ごせた。」とのお言葉もいただきました。

子供たちにとっても、地域とのつながりや普段の授業とは違った経験をすることができ、有意義な時間になったと思います。気賀の町、細江町の魅力を改めて知るきっかけにもなりました。

来年度もより一層充実した活動ができるよう、引き続きボランティアさんの御協力をいただきたいと思います。新規ボランティアの募集も行っていますので、地域の皆様、保護者の皆様、ぜひ学校に足を運んでみてください。



1月23日 ありがとう集会

1年生：公園山で秋探し・どんぐりのおもちゃ作り



2年生：もっとまちたんけん



3年生：戦争の話、スーパー見学



5年生：ミシン実習



6年生：ミシン実習・SDGs講話・跳び箱



発達：釘打ち・英語で遊ぼう・ゲーム大会



3年の区切りに



校長 齊藤昌長

気賀小学校はコミュニティ・スクール（CS）を始めて、今年で3年になります。この3年間、CSの活動にとって逆風がずっと吹いています。それは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大です。人と人との繋がりを断つこの病気の流行は、CSにとって致命的なものでした。CSは、子供たち、保護者、地域住民、そして教職員が自分たちの学校をつくる「学校は『ある』ものではなく『つくる』もの」を実現させるためのシステムです。しかし、その根本にある「人と人との繋がり」が薄くなってしまうと、CSの活動自体がうまくいかなくなってしまいます。

しかし、学校運営協議会では、学校の教育活動や課題について前向きな御意見をいただくとともに、気賀小学校を支えてくださっています。また、学校支援コーディネーターやディレクターの方の御尽力により、「気賀っ子応援団」に参加する方々が増え、気賀小学校のCSの活動は市内でもトップレベルになっています。「ウィズ・コロナ」へとシフトする中で、本年度は家庭科や図画工作科、歴史探検などの学習支援、低学年の栽培活動などを支援して下さる方々が増えています。さらに、各関係機関からの支援を要請して、子供たちの学びを充実させるために、SDGsや紙飛行機など、新しい活動にもチャレンジしています。

本校は来年度150周年を迎えます。CSは次の3年に向けて持続可能な気賀小学校のCSをつくっていきたいと考えています。

